

吹 奏 楽

Condensed Score

スラブ女性の別れ (Slave woman's farewell)

Music by Agapkim 三上次郎編曲

これは19世紀ロシア帝政時代のマーチで、ロシア民謡風な、短調の旋律を用いて作曲された、豪快な曲である。作曲者アガプキムについて、祥しい事は不明であるが、“ドナウ河の涙”的の作曲者である、ルーマニアのイヴァノヴィチ（1848～1905）と同時代の人で、恐らく当時の、軍楽隊長だった人であろうと考えられる。

尚、この曲は、〔帝政時代のバンドコンサート〕というレコード（A、エンジェルF R- 40160）に収録されている。

この曲は、オーソドックスなマーチの形式をとっており、旋律も覚え易いし、各楽器、セクションの役割りもハッキリしている。各々自分の楽器の役割りを把握した上で、演奏に臨んで欲しい。全体的には、力強い印象を与えるような演奏を、心がけるとよい。部分的に見てみると、④と⑤は同じ旋律であるが、④は低音の力強さ、⑤は中音の豊かな響きを強調し、その対比を味わえるような演奏にして欲しい。⑥と⑦も同様、⑥ではトランペットの力強さ、輝かしさ、⑦では中音の豊かな柔かい響きというように、特徴づけること。⑧からは再現部である。提示部より一段と力強く演奏し、終るように。尚この曲には、E・BassとE・Gtは使用されていない。

Tempo di marcia

(Tutti) 





SAMPLE

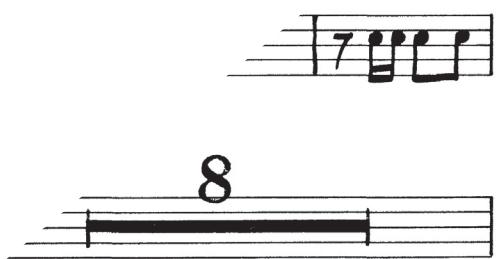
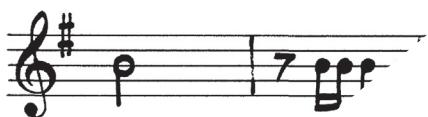
スラブ女性の別れ

(Slave woman's farewell)

TP.1

Music by ^
三上 ^

Tempo di marcia



S

A
M
P
L
E

8